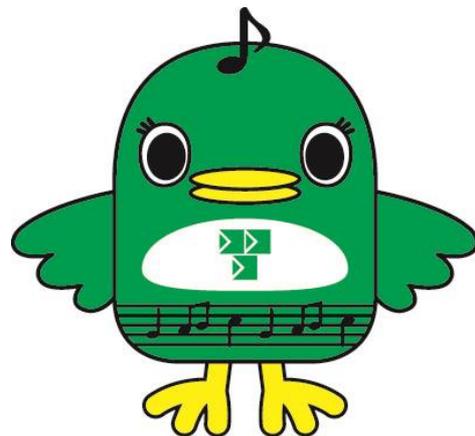


報告事項（2）

平成28年度

国民健康保険特別会計
予算の見通しについて



1

平成28年1月28日
市民経済部 国保年金課

○国民健康保険特別会計

平成28年度予算の見通し

(単位：百万円)

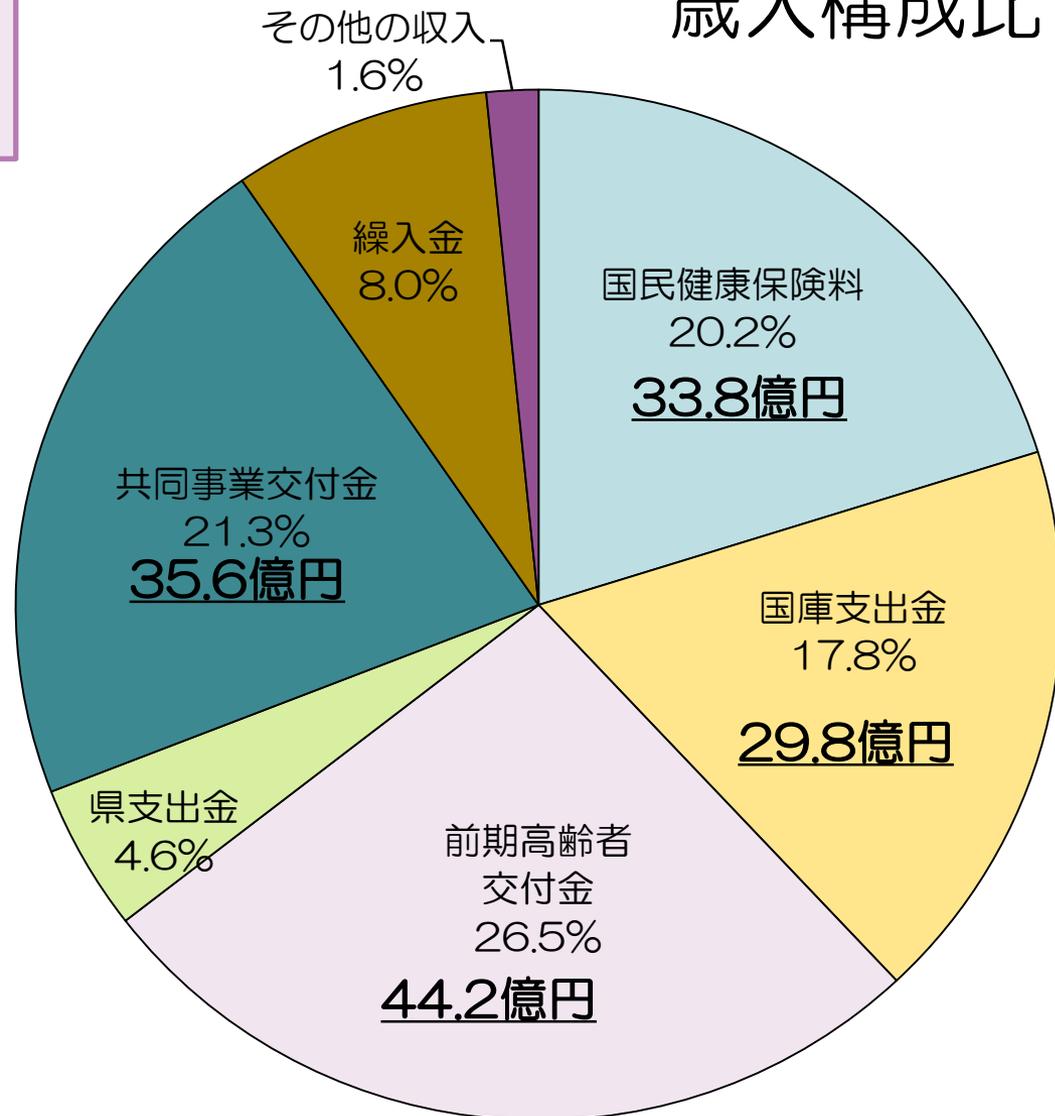
歳 入			歳 出		
	27年度	28年度		27年度	28年度
国民健康保険料	3,518	3,380	総務費	273	264
国庫支出金	2,985	2,981	保険給付費	10,181	10,040
前期高齢者交付金	4,460	4,420	後期高齢者支援金	2,050	1,960
県支出金	755	774	介護納付金	740	720
共同事業交付金	3,371	3,562	共同事業拠出金	3,337	3,532
繰入金	1,389	1,343	保健事業費	144	144
その他の収入	298	250	その他の支出	51	50
計	16,776	16,710	計	16,776	16,710

※被保険者数は人37,000人を見込んでいる。
 (前年度予算対比1,300人、3.4%減)

○平成28年度予算の見通し

歳入総額
約167.1億円

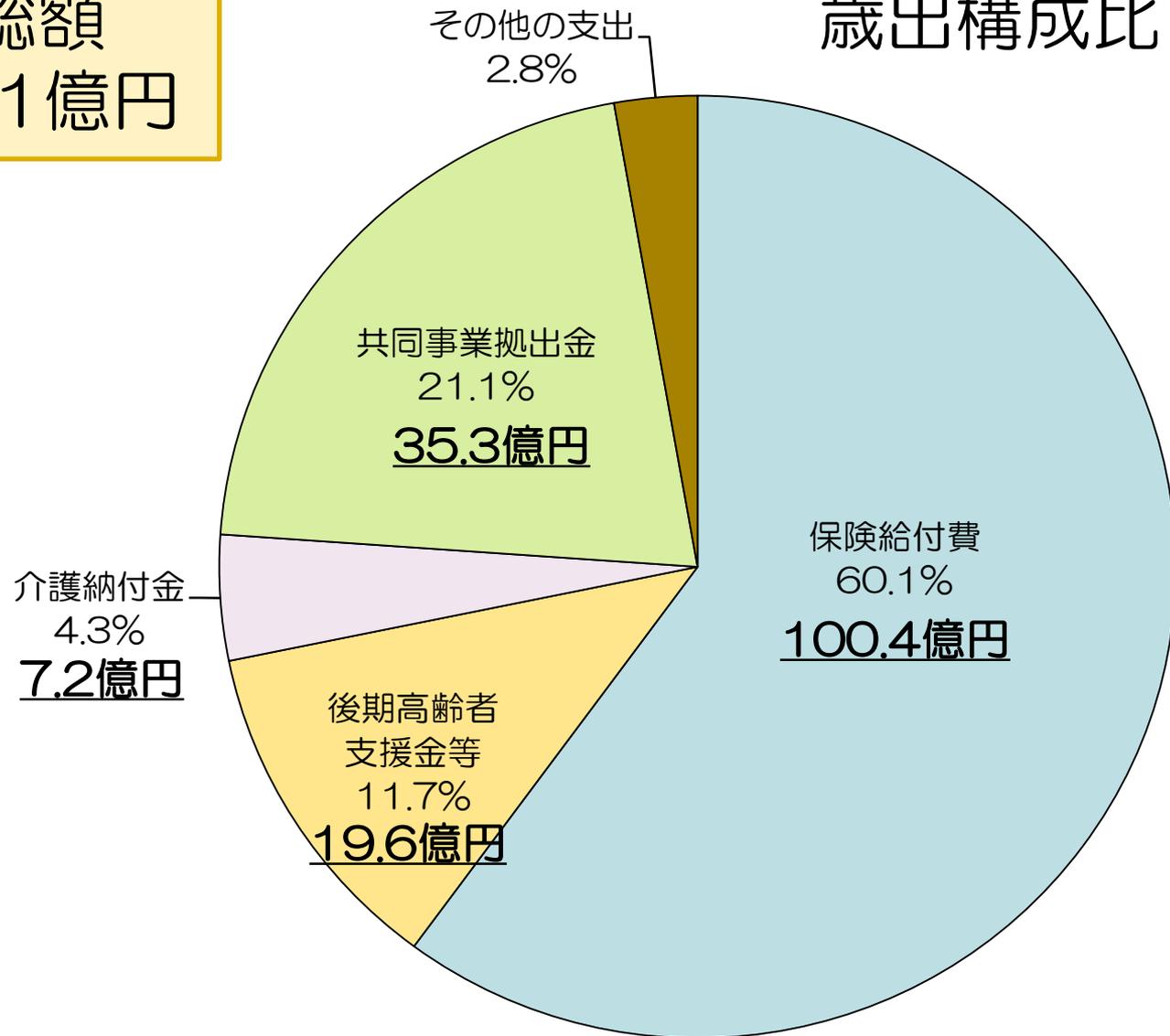
歳入構成比



○平成28年度予算の見通し

歳出総額
約167.1億円

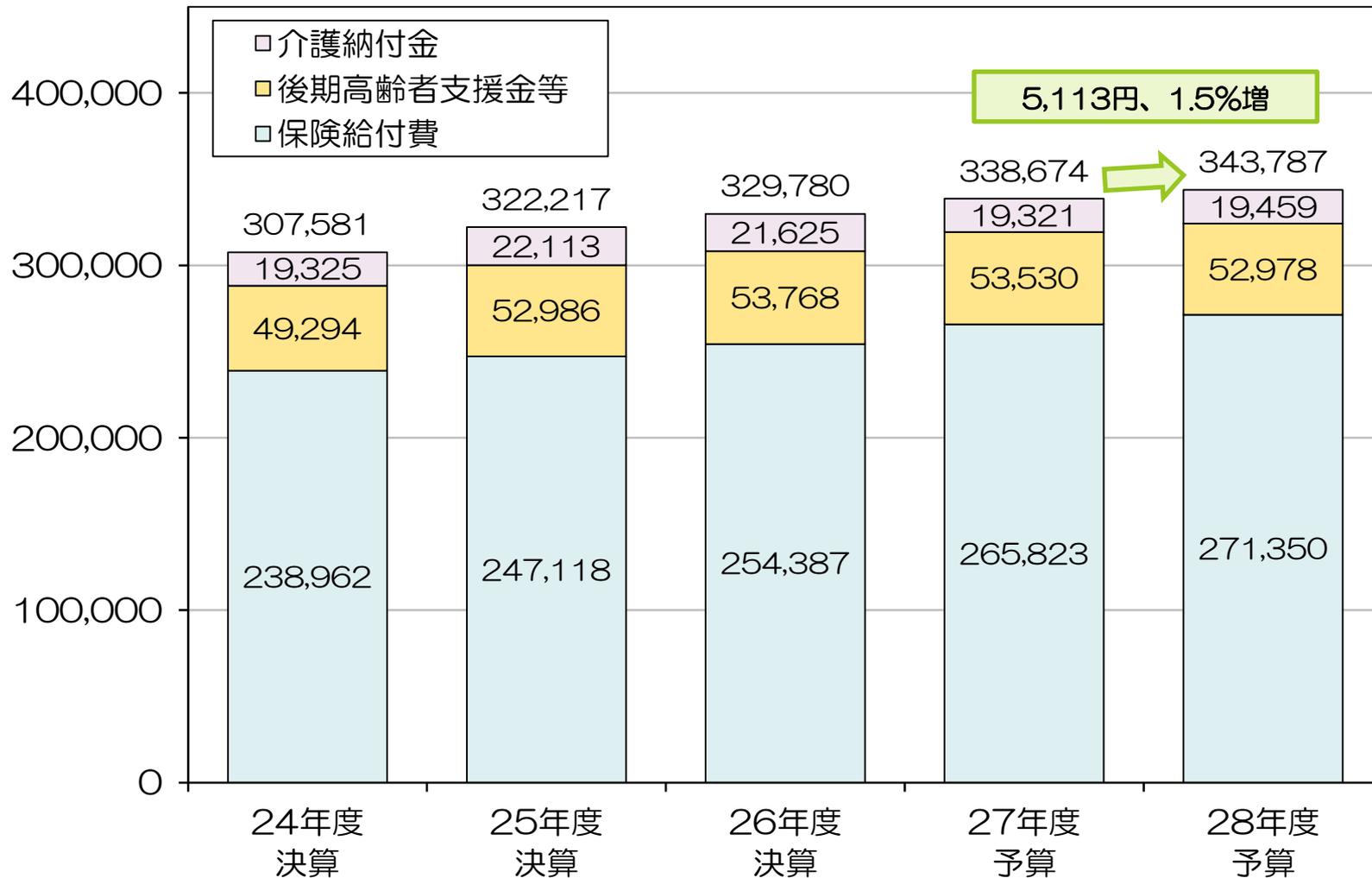
歳出構成比



○平成28年度予算の見通し

被保険者1人あたり主な歳出の推移

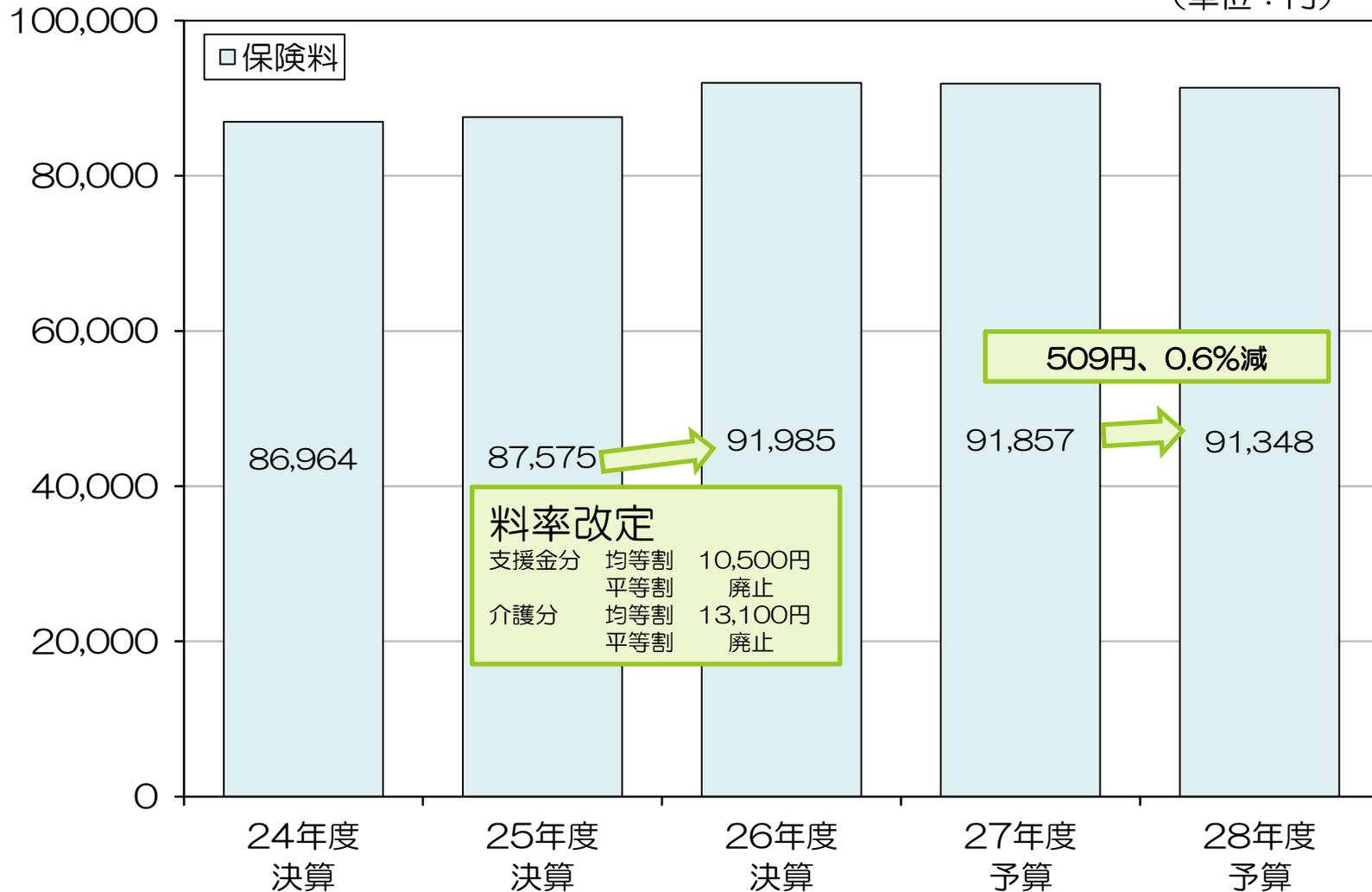
(単位：円)



○平成28年度予算の見通し

被保険者1人あたり保険料の推移

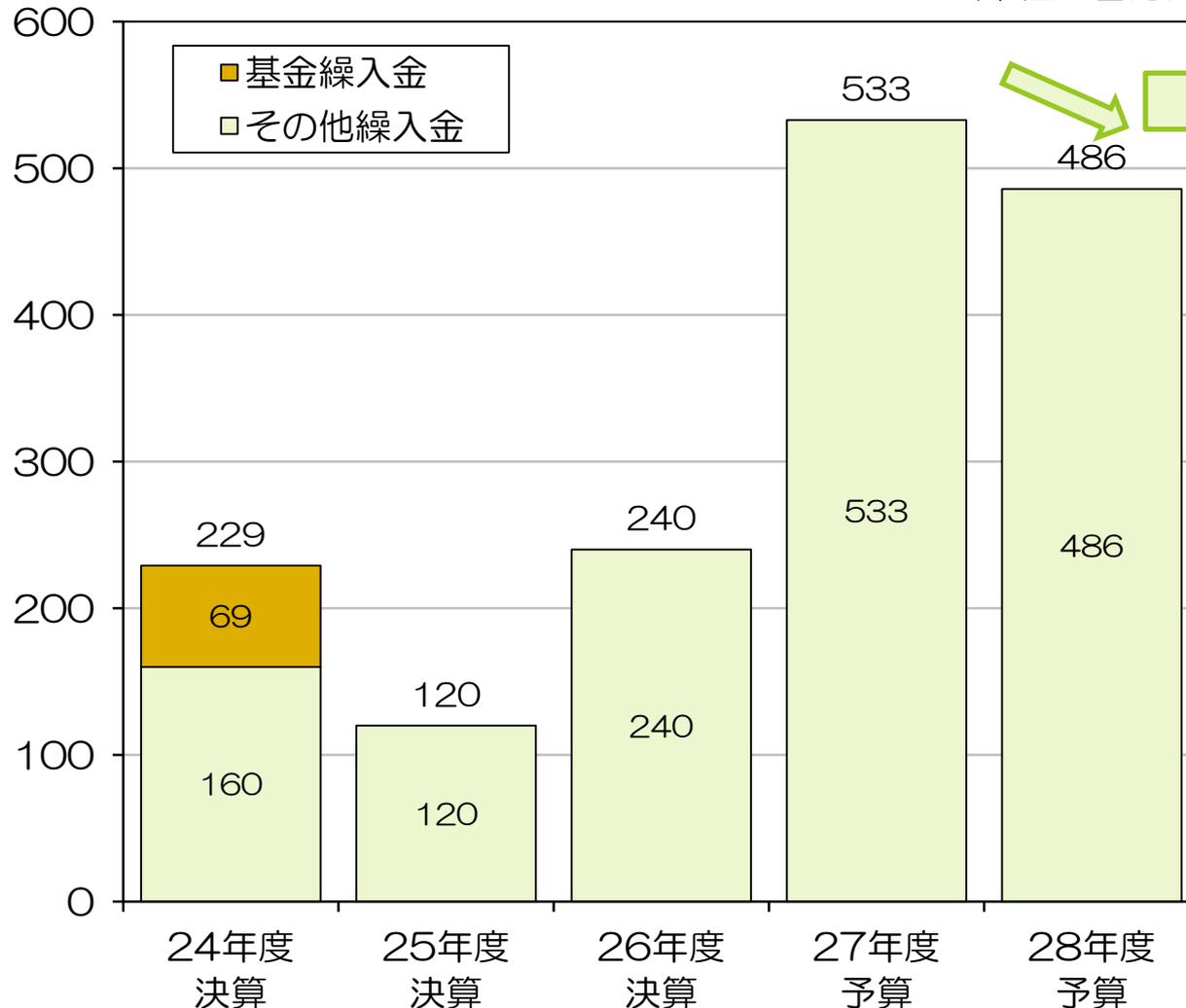
(単位：円)



○平成28年度予算の見通し

赤字補てん繰入金の推移

(単位：百万円)



47百万円減少

被保険者数の減少に伴い
主な歳出である
保険給付費等が
減少したこと等による。

(参考)

保険給付費

△141百万円

後期高齢者支援金等

△90百万円

介護納付金

△20百万円

※併せて歳入の保険料等
も減少している。

○平成28年度予算の見通し

財政基盤強化に向けて

保険給付費の抑制

ジェネリック医薬品の普及促進

差額通知の発送

保健事業の充実

慢性腎不全予防健康相談

保険料収納率の向上

債権管理の徹底

納付相談の充実

○今後の国民健康保険制度の予定

平成28年3月までに仕組みが決定

基盤整備のためのシステム改修など

県の運営方針、納付金、標準保険料率

保険料率の決定

平成30年度より県と市町村による共同運営

国や県の動向に注視した対応が必要

報告事項（１）

平成28年度

国民健康保険特別会計
予算の見通しについて

10

